

各位

薬剤部／薬品情報室（D I室）

D I ・ B O X # 0 2 7 3

アセトアミノフェン製剤の小児の適応追加について

非ピリン系解熱鎮痛製剤「ピリナジン末」（アステラス）、「アンヒバ坐剤小児用100mg」（アボット）は、小児科領域における解熱・鎮痛の適応が追加になりました。

アセトアミノフェンは小児の発熱や痛みに対し広く使用されていますが、小児の適応症を持つ製剤と持たない製剤があることから適応症および用法用量が見直され、国内外の使用実態やエビデンスをもとに、下記の表のとおり統一されました。

これに伴い、アンヒバ坐剤はこれまでの解熱に鎮痛の適応が追加され、用法用量も1回5～10mg/kgから1回10～15mg/kgへ増量されました。

処方の際は、投与量に注意してください。

薬品名 規格	ピリナジン末 1000mg/g		アンヒバ坐剤小児用100mg 100mg/個	
	改訂前	改訂後	改訂前	改訂後
適応症	(1) 頭痛、耳痛、 症候性神経痛、腰痛 症、筋肉痛、打撲痛、 捻挫痛、月経痛、分 娩後痛、がんによる 疼痛、歯痛、歯科治 療後の疼痛 (2) 急性上気道炎 (急性気管支炎を伴 う急性上気道炎を含 む)の解熱・鎮痛	(1) 現行どおり (2) 現行どおり (3) 小児科領域にお ける解熱・鎮痛	小児科領域の解熱	小児科領域における解 熱・ 鎮痛
用法用量 (小児領域 のみ記載)	なし	乳児、幼児及び小児に は 1回10～15mg/ kgを内服 投与間隔は4～6時間 以上 1日総量は最大60mg /kgまで 年齢・症状により適宜 増減、ただし成人の用 量を超えない	1日1回、次の用量に従い 直腸内に挿入、年齢・症状 により適宜増減 年齢ごとの投与量 ^{注)} 1歳未満 (50mg) 1～3歳未満 (50～100mg) 3～6歳未満 (100mg) 6～12歳 (100～200mg)	乳児、幼児及び小児に は 1回10～15mg/ kgを直腸内に挿入 投与間隔は4～6時間 以上 1日総量は最大60mg /kgまで 年齢・症状により適宜 増減、ただし成人の用 量を超えない
採用区分	採用 (入院・外来院内・院外)		採用 (入院・外来院内・院外)	

注) アンヒバの用量 (改訂前) は5～10mg/kgであるが、上記投与量は1回7.5mg/kgで計算されている